

こもれび

夢、感動、
ときめきのまちへ
あなたとともに...



(財)練馬区都市整備公社

特集

ガーデニングから



まちづくり入門講座
こもれびスクール

講師 ガーデンデザイナー
正木 覚 氏

まちづくり

私もマンションのバルコニーでガーデニングをやっていますが、もう一歩進んで、街に行き交う人々とガーデニングの幸福感を共有しようとする発想は、大変素晴らしいことだと思いました。花は人々の心を和ませ、コミュニケーションの媒介として、この上ないものです。個人の趣味を超えて、結果的に花で飾られた魅力ある街をつくるガーデニングの可能性を示す講演でした。(東大泉在住 Yさん)



花や木々、風や光などの自然とうまく付き合うことが気持ちいいだけでなく、環境にやさしいまちづくりにつながっていくことが分かりました。(田柄在住 Kさん)

せっかく素敵な講座が開かれたので、これを生かした実践のまちづくりができれば良いと思います。(光が丘在住 Eさん)



多くの方々に親しまれているガーデニング。花やみどりは、人々の心を癒してくれるだけでなく、いろいろな効果をもたらしてくれます。特に都市に住んでいる私達にとっては関心が高く、ガーデニング人気定着するのうなづけです。

そんな一人で始めるガーデニングも、心地よさを求めて工夫すれば、まちづくりにつながっていくことを、まちづくり入門講座「こもれびスクール」で学びました。講師は、ガーデンデザイナーの正木覚氏です。

人を惹きつける 植物の力



私は、大学生の時に玉川上水の保全運動を始めたのをきっかけに、この世界に入りました。その頃の記憶で今でも鮮明に残っているのが、職人として植えた一本のケヤキの木です。植えた瞬間、周りが輝き、人が見に来るのです。それは人間が本能的に持っている種からものを育てるような喜びでした。それを伝えていきたいと思い、ガーデンデザイナーの仕事をしています。

今度、世田谷に引越しましたが、以前あった国立の事務所でのことです。植物の観察をしようと、それまでコンクリートの駐車場だった所に庭を造ったのですが、そこで色々なドラマが起きました。



木や花を植えたら人の通りが変わり、わざわざ事務所向かって人が歩いてくるようになったのです。そこに小さなベンチを置いてみたら、ある日、おばあさんが座りました。事務所の中に「やった!」という声が上がりました。面白いことに、植物がそばにあると人が寄ってくるのです。

また、ある日、四、五十代の全く知らない一人の男性が、「この庭のみどりを見るとすごく心が和むのでお礼を言いたい」と突然訪ねてきました。その方は体を壊して療養している時に、

一人から始める みどりづくり



ここを散歩コースにして楽しみにしていたというのです。さらに世田谷に引越すにあたり、そこにあった植物は全部移植しましたが、「切っちゃったのですか」と知らない方が聞いてくるのです。「全部引越させましたよ」と言つと、その方は「安心しました。でもさびしくなるわね」と声をかけてくれました。既にまちの風景の一つとして地域の植物になっていたので、植物にはそのような力があります。

1 通りをつくる庭づくり

私が依頼を受けたその庭は、幅が50cmしかなく、道路との境が殆どない小さなものでした。ご主人と奥さんは体が不自由なので、建物はリアフリー、外側とうまくつながるようにデザインされています。また、建物は、部屋の中を風が隅々までいきわたるように造られていました。

そこで工夫したのは、道路から車がぶつかってこないように膝位の高さのコンクリートの塀を造り、その内側に木を植えるということでした。狭いところで高い塀の内側に庭を造ると、暗くなつて風が通りません。そこで、外側に向かつて造り、街並みを形成しようとしたのです。流行のデッキも床を上げて張り出させ、風が通るようにし

